

令和3年度 学校自己評価システムシート (県立川口高等学校)

目指す学校像 生徒の可能性を追求し、進路を実現する力と人間力を高める学校

重点目標	1 高い志と目標を持って、主体的に勉学に取り組む姿勢を育成し学力の向上を図る。 2 部活動・学校行事を通して、協同しながら高い志を持って挑戦する強い心と自ら考えて行動する習慣を養う。 3 地域・家庭・中学校と連携し、伝統を受け継ぎつつ躍進する開かれた学校づくりを目指す。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	0名
	事務局(教職員)	9名

年度目標		学校自己評価		年度評価(2月1日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況		
1	<p>【現状】多くの生徒が誠実に努力し学習に取り組んでいる。しかし、コロナ禍にあって学習の遅れや不安が増大しつつあり、自分の高い志を維持し実現させるために必要な具体的な解決策である学習時間の確保が不十分である。生徒の学習習慣の定着のために必要な授業改善および指導力向上への工夫として、学習指導の更新が求められている。担任・学年・分掌・部活動顧問等が情報を共有して連携し、一人一人の生徒に応じた的確で具体的な指導をすることで、生徒が川高で安心して自己実現を目指した活動できるように取り組む必要がある。</p> <p>【課題】 ・学力の3要素を育成する授業の実施 ・教育の情報化の推進 ・授業時間以外における学習時間の増加 ・模擬試験や各取組のふりかえり指導の徹底 ・次期学習指導要領や大学入試改革に向けた具体的な取組 ・進学に重点をおく学校として全職員の共通理解の深化</p>	<p>生徒の学習習慣の定着と学力を向上させる授業の実践</p> <p>大学入試改革に対応した進路指導体制の整備と充実</p>	<p>①学力の3要素をバランスよく育成する授業を実践する。 ②HRプロジェクトやClassroom、BYOD等のICTの積極的活用を促す。 ③授業以外の学習機会として、各種検定試験の受験の奨励と、WEB学習サービス等の活用を働きかける。 ④積極的に教員同士が授業研究等を行う。 ⑤観点別学習評価の円滑な導入に取り組む。</p> <p>①定期考査や模試の実施後のふりかえりを徹底し、継続した指導の改善を行う。 ②全学年で学期内や長期休業中の講習会や進学補講を実施する。 ③生徒との面談を定期的に行い、きめ細やかな進路指導を行う。 ④次期学習指導要領、新たな入試制度について、校内の取組の更新を行う。</p>	<p>①学習習慣(授業時間外の学習が全学年の平均2時間以上/1日)が8割以上 ②プロジェクトや授業動画、補習動画の活用状況 ③各種検定試験やweb学習サービスの申込数 ④年2回の授業公開週間における授業参観の参加人数 ⑤観点別学習評価に関する校内外の研修等の参加</p> <p>①希望進路決定8割以上 ②講習会にのべ100名以上の生徒が参加 ③④コロナ禍に配慮したICTの活用や面談の実施 ③④研修会への積極的な参加や校内検討会の実施</p>	<p>【学習時間は増加しつつあり、学力を向上させる授業が実践できた】 ①学習時間が2時間以上となった生徒は、平日10.5%(9.5%)土日祝日21.3%(20.3%)であった。()は昨年度12月比。 ②授業、講演会、始業式、終業式などに教室のプロジェクト等ICTの活用が進んだ。 ③英検338名(2級合格13名、準2級合格50名)、漢検100名(2級合格6名、準2級合格6名)、数検10名(2級合格2名)が受検した。GTECを1年生(321名)が受検した。スタディサプリは210名が申し込んだ。 ④5月と11月の2回実施したが保護者の授業参観は中止した。教員同士の授業見学は延べ65名であった。 ⑤9月に近隣中学校の観点別学習評価の実践を見学した。12月に観点別学習評価に関する職員研修を行った。</p> <p>【大学入試改革に対応した進路指導体制を充実することができた】 ①一般受験55名。進路決定者80.4(84)%(1/27現在) ②平日補講18(16)講座(参加生徒210(250)名)、夏季補講2(15)講座(参加生徒276(200)名)、冬期補講8(11)講座(参加生徒50(50)名)、「スタディサプリ」希望者210(286)名受講 ③コロナ禍に配慮して授業や面談でのICTを積極的活用 ④進研模試分析会、一般受験検討会を実施</p>	B	<p>【課題】授業時間外の学習時間を定着し続ける。</p> <p>【改善策】教育の情報化をさらに促進させ、新学習指導要領の実施や大学入試制度の変化を考慮しながら、授業の構築と改善を行うことで、生徒の学習時間を増やす。教員のスキルに応じた研修の実施により、情報機器の教育活動や授業への活用推進を図る。</p>
2	<p>【現状】創立80周年を迎え、伝統の継承を再確認するとともに、学校生活における「高く正し」の校訓を維持して実践する必要がある。規範意識と基本的な生活習慣を向上させ、学習と部活動をバランスよく両立しながら、生徒の高校生活の充実が一層求められる。</p> <p>【課題】 ・本校校訓「高く正し」の学校生活における実践 ・80周年記念事業の実施 ・生徒会や各委員会を中心とした自主自律活動の実践 ・部活動を継続・部を退部しても違う部に再チャレンジできる環境の整備</p>	<p>組織的な生徒指導体制の醸成</p>	<p>①礼節をわきまえ、規範意識と時間管理の醸成に全校体制で取り組み、生活指導を継続実施する。 ②学校行事や部活動等を通してコミュニケーション能力やリーダーシップ、問題解決能力を育成する。 ③主体的に学習と部活動の両立を図ることができる指導体制を確立し、生徒手帳を積極的に活用して生徒一人一人が自ら計画的に時間管理するよう支援する。 ④通学時の交通安全意識や情報モラルを高める。</p>	<p>①挨拶、服装、整頓、清掃等年間目標の実施状況 ②部活動や学校行事の満足度が80%以上が6割以上 ③部活動加入率の推移 ④生徒の遅刻者数の推移 ⑤交通安全指導実施状況、交通事故0件日にちの増加など</p>	<p>【組織的な指導体制下で行事や部活動の活性化を行うことができた】 ①93.5%の生徒が「服装・髪型・あいさつなどがきちんとできている」と感じており、昨年度より0.5ポイント上昇した。 ②部活動84.3%(87.3%)学校行事93.4%(93.1%)<昨年度12月比> ③運動部、文化部あわせて93.7%の生徒が部活動に加入している。昨年度より0.8ポイント下降した。 ④遅刻者の1日平均の人数は、前年度の4.7人から6.7人に増加した。 ⑤自転車事故は12件で、昨年度より1件減少した。</p>	A	<p>【課題】コロナ禍における挨拶、服装、整頓、清掃等の風紀について改善・工夫する必要がある。とくに女子生徒に対する整容指導に工夫やアイデアが求められる。さらにコロナ禍で生活習慣の確立ができず遅刻する生徒がいた。自転車の安全運転・安全点検・交通マナーの向上等の指導の充実が必要である。</p> <p>【改善策】職員間の共通理解を図り、継続かつ統一した指導により、「高く正し」人間を育成していく。継続的に携帯電話の安全で正しい使用、依存症の予防等を指導し、更に講演会・情報収集・研修などを行っていく。</p>
3	<p>【現状】保護者や地域、中学生に向けて、本校の魅力をより効果的に伝えるため、在校生の活動状況や学校生活の様子を学校ホームページや川高インフォメーションで情報発信している。そのうえで「新しい生活様式」のもと、実現できる学校説明会等の広報活動の内容の充実を図る必要がある。</p> <p>【課題】 ・部活動ページにおける更新回数のさらなる増加 ・ホームページ記事掲載に関する研修会等の実施 ・学校説明会の参加者数の維持</p>	<p>情報発信の定着化を行い、川高ファンを増やすことで保護者や地域の連携・協力を推進</p>	<p>①各学年での行事や部活動の予定、実績などを定期的に情報発信する。川高インフォメーションや学校ホームページを活用する。 ②保護者との連絡や連携を密にし、PTA活動の活性化を図る。 ③地域の中学生や地域との交流の充実を図る。 ④「新しい生活様式」のもとで行える学校説明会や進学フェアなどを活用して中学生およびその保護者に学校の魅力を伝えるよう工夫を行う。</p>	<p>①記事投稿数とアクセス数の増加 ②PTAの活動回数 ③中学校や地域との連携回数 ④学校説明会等の参加者数増加</p>	<p>【保護者や地域への情報発信を定着させて連携を推進することができた】 ①記事投稿数は227回、トップページアクセスは115,234であった。(1月27日現在) ②進路講演会で139名の保護者の参加があった。感染症拡大防止策のために、PTA活動は電話、メール等で行った。 ③9月に里中学校3学年の生徒が本校に来校し、放課後の部活動を見学したり、交流したりした。各部活動が中学校と合同練習や地域交流を行った。 ④学校説明会には1680名が参加した。コロナ禍で定員と申込期限を設けたため昨年より減少した。</p>	A	<p>【課題】感染防止対策で、学校行事、部活動が制限され、校内の広報活動が昨年に続き縮小された。だからこそ、学校と保護者や地域との連携による理解の共有が必要である。</p> <p>【改善策】制限のある中でできるPTA活動を実施する。負担減を意識しつつ代替案を用意して変化に対応していく。オンライン等の活用も含め学校説明会の更なる工夫が必要。</p>

学校関係者評価	
実施日 令和4年2月8日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
○中学校で ギガ端末を活用した授業を受けてきた生徒が高校に入学することになります。学習の ICT 化が急速に進みつつありますが、未だ教員や生徒の間でも模索中の感があります。生徒は、機器の操作や動画などから学ぶということに慣れていていると思います。生徒の学習意欲が下がらぬよう、授業の仕方の工夫が必要だと感じました。対面で授業ができないからこそ、授業の感想やコメントの場を設け、教員は生徒の言葉を拾い、生徒は授業を振り返ることが大切だと思います。	○朝自習や週末課題に意欲的に取り組めたと感じる人が少ない結果となっています。コロナ禍で生徒は勉強への不安が今まで以上に大きいとは思いますが、1日の勉強時間の目標を立て、毎日の積み重ね、継続力を大切にし、今後の力に活かして欲しいと感じました。
○先生のアドバイスを頂き、志望校を見つけることができる体制があります。補講が充実していました。進路ガイダンスを行っているのが良いと思いました。	○川口高校は進路指導がとても充実していて、先生方一人一人が面接の指導丁寧にして下さったり、親身になって相談に乗ってくださいます。進路希望の実現のために、1年生から進路指導室等を利用し、情報を得て学び、視野を広げて欲しいと感じます。
○先生のアドバイスを頂き、志望校を見つけることができる体制があります。補講が充実していました。進路ガイダンスを行っているのが良いと思いました。	○コミュニケーションが取りづらい時期であるので、先生方関係者の協力が不可欠だと思います。一般受験のための情報やシステムを充実させてほしいです。
○生徒の自主性を重んじながら、生活指導が徹底されていることがわかります。服装はきちんとしており、生徒が気持ちよく挨拶してくれました。よく貴校生徒の自転車での登下校や部活動での移動の様子を目にしますが、交通マナーが良いと感じます。	○コロナ禍で行事も部活も活動は難しかったと思います。修学旅行は残念でしたが、体育祭や文化祭が工夫して開催できたことは良かったです。これまでの行事のやり方がすべて良かったのかはわかりませんが、しばらくは、制約がある中での開催になるのではないのでしょうか。
○生徒としては修学旅行に行きたいという気持ちが、記述アンケートからとても伝わりました。クラスターが発生していないという点から生徒の安全は守れていますが、楽しみにしていた学校行事がなくなってしまう分、生徒は多くのストレスを抱えるかと思っています。このような時期だからこそ、生徒の声に耳を傾け、充実した学校生活を送ってもらいたいと思いました。行事や部活動の縮小や中止で生徒たちの意欲も失われてるように思います。「出来ない」ではなくどうやったらできるかを考える必要があると思います。	○創立80周年おめでとうございます。また、野球部の活躍は心を打たれました。目標には届きませんでしたが、こうした出来事の一つひとつが川高ファンを増やしていくと思います。ホームページの「校長日記」を拝見していますが、保護者との繋がりという面で、非常に効果的だと思います。
○今年度も中高連携の取り組みとして交流会を実施していただきました。中学3年生の満足度はかなり高く、今後も是非お願いしたいと思います。	○コロナ禍で学校祭などに保護者や地域の方が訪問する機会がなくなってしまったのは残念です。
○5月の進路講演会は役立つ情報も多く参加してよかったと思いますがPTA総会については書面の確認(承認)が主なので集まる必要性をあまり感じません。	○保護者の記述アンケートを見ると、親と子どもの情報共有ができていなかったり、学校に行くことがないために学校の様子や子どもの様子が分からなかったり、心配の声が上がっています。ホームページを有効活用し、写真だけではなく授業や今までの学校行事、コロナ禍での生徒の学校の様子を動画として取めることで、より分かりやすく保護者や地域の方に川高を知ってもらえる機会になるのではないかなと思います。